

平成 19 年 11 月 1 日

南海電気鉄道株式会社

泉佐野で線路敷設当時の 110 年前のレールを発見

南海電鉄（社長：亙 信二）では、泉佐野市内で連続立体化（高架化）工事を推進しています。同工事の進捗に伴い、南海本線・泉佐野駅では平成 14 年（2002）5 月に上りホーム、17 年（2005）11 月に下りホームをそれぞれ撤去しましたが、長年にわたりホーム上家の柱として使用していた古いレールの一部（20 本）に刻印があることを発見しました。

そこで当該レールを調査したところ、当社の創業期に線路として敷設された、約 110 年前の貴重なものである可能性が高いことが判明いたしました。

そのため、これらのレールは 11 月 3 日（土・祝）に千代田工場で開催予定の「南海電車まつり」で展示した後に、当社にて一部を保存する予定です。そして、残りのレールについてはその活用方法を今後検討いたします。

詳細は別紙のとおりです。



今回発見された古いレール

（上：カーネギー（CARNEGIE）製鋼会社製造 / 下：カイザー社（DK=Deutscher Kaiser）製造）

< 別紙 >

1 . レール (2 0 本) に刻まれている刻印

(1) C A R N E G I E (1 0 本)

このレールは、明治 2 9 年 (1896) 、アメリカ・ペンシルバニア州のカーネギー (CARNEGIE) 製鋼会社のエドガー・トムソン工場 (ET) で、当社の前身である南海鉄道の発注によって製造されたものです。

南海鉄道は、明治 3 0 年 (1897) に堺 ~ 尾崎間を開通しており、その建設当時に敷設されたものと思われます。

(2) D K (1 0 本)

このレールは、明治 3 9 年 (1906) 、ドイツのカイザー社 (DK=Deutscher Kaiser) で、南海鉄道の発注により製造されたものです。

南海鉄道は、明治 4 0 年 (1907) 頃には堺周辺で複線化工事を行っており、その際に敷設されたものと思われます。

2 . 今後の予定

1 1 月 3 日 (土・祝) に当社の千代田工場 (河内長野市原町) で開催を予定している「南海電車まつり」にて、それぞれの刻印が刻まれたレール各 1 本をお客さまにご覧いただき、その後当社にて保存する予定です。

また残りのレール (各 9 本) については、その活用方法を今後検討いたします。

3 . 泉佐野市内連続立体化工事について

泉佐野駅を含む井原里 ~ 羽倉崎間 (約 2.8km) を高架化し、9カ所の踏切を除却する事業で、昭和 6 2 年 (1987) 3 月に都市計画決定されました。

平成 1 4 年 (2002) 5 月に上り線、1 7 年 (2005) 1 1 月に下り線がそれぞれ高架化され、現在は泉佐野駅を東西に貫く中央通路などの工事を鋭意推進しています。



泉佐野駅下りホームで使用されていた当時の様子（平成17年7月撮影）